



# 被爆者と共に核兵器のない世界を 碑前に誓う



参加者全員で記念撮影 岡山市東山原爆慰霊碑前



写真左・碑前のつどいに参加下さった岡山市被爆者会の皆さん。右・線香を手向け碑前に核廃絶を誓いました。

平和行進岡山県内3日目は、岡山市東区県営益野団地を出発し、途中東山にある岡山市原爆被爆者慰霊碑に参拝、県庁まで歩きました。

東山慰霊碑前には岡山市被爆者会の皆さん8名が行進団を出迎えてくださいました。行進団を代表し鷲尾裕景代表が「核兵器禁止条約締結国が66カ国になり、核なき世界に向け歩み始めているが唯一の戦争被爆国日本政府は背を向けるだけでなく、軍拡の方針を歩もうとしている。核兵器のない世界に向け被爆者と共に運動をすすめる」と挨拶。廣信靖之県・市被爆者会会長は「県内の被爆者は1014人、平均年齢も84歳を超えました。元気なうちに核兵器禁止条約が締結されることを願い、核のない世界を目指し頑張りたい」と挨拶されました。

この後参加者は一人ひとり線香を慰霊碑に備え、核兵器のない世界を目指し運動することを誓いました。



上・行進実行委員会から被爆者会にお供えを渡しました。下・県「被爆2・3世の会」志賀雅子事務局長は「父は私たちに何も話さず死んでしまいました。孫たちに何としても平和な世界を渡すために歩きつづけます」と挨拶されました。

